

報道関係者各位

2014年12月5日

素敵な駅をつくる産学協同『八幡前駅プロジェクト』 2014クリスマス・イルミネート・デコレーション & 駅の全面改装(塗装)を実施



日時 2014年12月10日(水) 12:00~12:30頃

場所 叡山電車「八幡前」駅ホーム

同志社中学校 鉄道部が中心となった有志のメンバーと叡山電車とのプロジェクトチームで、八幡前駅のクリスマスデコレーションの仕上げと、イルミネーションの点灯式を行います。

「八幡前駅プロジェクト」は、2013年1月に始まった同志社中学校の有志生徒による「素敵な駅」をつくる取り組みです。地下鉄開通後、利用者数が激減している「八幡前駅」を、自分たちの手でもう一度「素敵な駅」にしよう！という思いで、同志社中学校内で呼びかけて集まった有志生徒と叡山電鉄株式会社との産学協同のスタイルで、「どのような駅にすべきか」を話し合ってきました。フィールドワーク、検討会議、プレゼンテーションをかさね、これまでに「手すりの塗装」と「壁新聞の季刊発行」等を実践してきました。

そしてついにこの2014冬、叡山電車での駅全面改装が実施されることとなり、駅の塗装・デザインについては同志社中学校 鉄道部が中心となった有志メンバーのアイデアが取り入れられたものになります。そのリニューアルに際して、昨年に引き続き行いますが、今回の「クリスマス・イルミネート・デコレーション」です。“寂しい”“暗い”といった駅が抱える課題を、中学生が作成・演出したクリスマスツリー装飾をメインに“賑わい”や“明るさ”に変えたいと願っています。

報道関係者の皆さまには、学校におけるキャリア教育やアントレプレナーシップ教育が注目されている今、京都の街に根差した本プロジェクトに是非とも着目していただき、広くご紹介していただけますようお願い申し上げます。



【クリスマス・イルミネーション期間】

2014年12月10日(水)~

2015年1月30日(金)予定

点灯時間 日没~21:00頃まで(毎日)

場所: 叡山電車「八幡前」駅 上下ホーム

【本件および取材・報道に関するお問合せ】

同志社中学校

入試広報室(担当: 古城)

TEL: 075-781-7253

叡山電鉄株式会社

鉄道部 営業課

TEL: 075-702-8111

通学で使う同志社中生ら



塗装がはげた手すりをペンキで塗り替える生徒
(京都市左京区・八幡前駅)

叡電・八幡前駅美しく

手すりペンキ塗り替え

928年の開業からほとんど改修されず、2〜3年の生徒10人が1月から駅の課題を探っている。

14日には生徒とアシヨカ・ジャパンのメンバー計8人が、明るい印象になるように黄色のペンキで手すりを塗り替えた。大きな時計を設置するなどの改修案を今月下旬に同電鉄に提案し、4月以降の取り組みを相談するという。

京都市左京区の同志社中の生徒が、通学で使う近くの叡山電鉄八幡前駅の修繕活動に取り組んでいる。85年前の駅開業以来、ほとんど未改修のため同電鉄が学校にも協力を求めた。生徒たちはペンキ塗りなどに励み、駅は徐々に生まれ変わっていく。

駅の修繕には社会起業家を支援する「アシヨカ・ジャパン」(東京都)も加わり、生徒とともに修繕方法を検討している。駅舎は1

鉄道部で3年の寺内高輝君(15)「伏見区Ⅱらは「八幡前駅は口ーカル駅のいい雰囲気」が漂う。多くの人に使ってもらえるように頑張りたい」と話した。
(宇都寿)



クリスマスの飾り付けをする同志社中の生徒ら(京都市左京区・八幡前駅)

叡電・八幡前駅 X マス色に 同志社中生が装飾

京都市左京区の叡山電車八幡前駅で18日、同駅に近い同志社中の生徒5人が、特製の人形などを置き、赤いモ

自分たちの手で明るい中、2006年から市民の投稿も載せ始めたが、

駅にしようと、1月に取り組みを始め、手すりの塗り替えなどをしてい。この日は上下線のホームで、手書きの「イエスの誕生」や「クリスマスカードが高まった。駅を利用する3年の馬話真実さんは「駅名にちなんでコストを8万円に抑え、温かい駅を目指して取り組んだ。人がたくさん使うようになれば」と話している。(浅井佳穂)

八幡前駅プロジェクトは、これまで京都新聞で取り上げていただきました(2013年3月19日朝刊 宇都寿記者)
(2013年12月19日朝刊 浅井佳穂記者)